

授業概要

科目名		運動学			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間 (2単位)	配当学年・時期	作業療法士科2年			必須・選択	必須

〔授業の目的・ねらい〕

身体諸器官のなかで筋・骨・関節などの運動器を対象とし、その身体運動を研究する学問を運動学(kinesiology)という。作業療法が目的とする「応用的動作能力の改善」を考えるときの基礎学問になる。授業では作業療法に必要な基礎的な運動学の知識を学習する。

運動器の構造と機能を理解し、それらの知識に基づいて身体運動について学習する。この科目は、動作能力の評価や治療を学ぶうえでの基礎分野としての役割を果たす。

身体運動を分析し理解する方法を習得する。

回数	講義内容
1	オリエンテーション
2	筋収縮の様態およびOKC・CKC
3	骨と関節の運動
4	上肢帯と肩関節での上腕の運動①
5	上肢帯と肩関節での上腕の運動②
6	肘関節と前腕の運動
7	手関節と手の運動
8	下肢帯と股関節の運動①
9	下肢帯と股関節の運動②
10	膝関節の運動
11	足の関節と足の運動
12	頸椎の運動
13	胸椎と胸郭の運動
14	腰椎の運動
15	まとめ
	定期筆記試験

--

書籍名	著者名	出版社
-----	-----	-----

基礎運動学 第6版補訂	中村隆一	医歯薬出版

履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする